

だい かいかめおか し しょうがいしゃ ふくしたいかい
～第38回亀岡市障害者福祉大会～
 かいさい
が開催されました

ことし だい かいかめおかししょうがいしゃふくしたいかい がつ にち にち がれりあ
 今年も、第38回亀岡市障害者福祉大会が10月27日(日)にガレリアかめおか
 かいさい
 で開催されました。

とうじつ しょう しゃふくし こうじょう こうけん かた ひょうしょうしき かいが しゅうじ さくひんてん
 当日は障がい者福祉の向上に貢献された方への表彰式や絵画、習字などの作品展
 じ おお ひと にぎ ことし しゅわまんざい あんど ふたり
 示など、多くの人で賑わいました。また、今年は手話漫才「ぷ～&み～」のお二人が
 まんざい ひろう まんいん ひびき ほーる
 漫才を披露。満員の響ホールからは
 みな わら こえ ひび
 皆さんの笑い声が響いていました。



えすえぬえす そーしゃる ネットワーキング サービス しょうかい
SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)をご紹介します

そーしゃる ネットワーキング サービスとは、パソコンやスマートフォンなどを使って世界中の誰とでも
 つながることができる媒体 (Webサービスの総称) です。

その中にある「LINE」や「Instagram」は、亀岡市のイベントなどが紹介され、また緊急時の情報発信の
 ひとつにもなっています。

また、「Facebook」は亀岡市としてもすでにアカウントがありますが、このたび、亀岡市障害福祉課
 としてもアカウントを立ち上げました。

しょう ふうし かんけい いべんと かつどう しょうかい
 障がい福祉に関係するイベントや活動を紹介していますので、ぜひ、登録して閲覧してください。

亀岡市公式 Facebook



リアルタイムな行政情報、まちの話題、観光イベント
 情報を発信しています。気に入った投稿があれば
 “いいね！”で応援よろしく
 お願いします！

○アドレス <https://www.facebook.com/kameokacity>



亀岡市LINE公式アカウント



主要コミュニケーションツール「LINE」。
 毎日使うアプリに、毎日亀岡の話題が届きます。
 イベント情報を中心に、災害時には
 防災情報も配信します。

○アドレス line://ti/p/@kameokacity ○ID @kameokacity



亀岡市公式 Instagram



イベントや風景の写真を通じ、四季折々の亀岡を
 発信しています。
 “SNS 映え”するまち・亀岡。
 その魅力をぜひご覧ください。

○アドレス <https://www.instagram.com/kameokacity/>



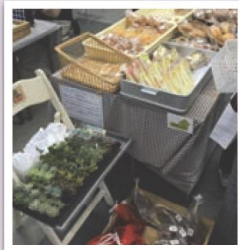
亀岡市障害福祉課 公式 Facebook

「ほっとはあと」製品 販売会のお知らせ

亀岡市内には、障がいのある方たちが、仕事に必要な知識や技術を身に付けるための「就労支援事業所」がいくつかあります。そこではパンなどの食品を作ったり、小物などの作品を作ったりしています。障がいのある方が作った食品や作品を「ほっとはあと」製品と呼んでいます。

亀岡市役所の庁舎内では、この「ほっとはあと」製品の販売会を定期的に行っています。販売日には多くの人で賑わい、人気商品はすぐに完売するなど、大盛況となっています。

開催日は毎月第4火曜日（奇数月は第2水曜日）も実施。午前11時から午後1時までとなっていますので、是非一度お立ち寄りください。 ※開催日は、前日または当日が祝日の場合に変更となります。



活動団体紹介③ 亀岡市視覚障害者協会

市内には、障がい者やその家族及び支援者で構成される障がい児者団体がいくつかあります。障がい福祉NEWSでは、その団体の役員にインタビューし、活動内容などを紹介しています。

一昨年は「亀岡市身体障害者福祉協会」、昨年は「亀岡市障害児者を守る協議会」を紹介しました。今年は、「亀岡市視覚障害者協会」を紹介します。

まず、自己紹介をお願いします。

亀岡市視覚障害者協会の会長を務めております酒井忠繁です。亀岡市身体障害者福祉協会の会長も兼ねております。よろしくお願いたします。

では、最初に団体の歴史や活動の目的について簡単にご説明いただけますか？

当会は、今から遡ること71年前の1948年に、京都府盲人協会の地域団体として「南丹盲人協会」が発足したことをきっかけに活動を始めました。その後、何度か組織や名称の変更を経た後、現在の「亀岡市視覚障害者協会」となりました。視覚障がいを抱える方が孤立することなく、住み慣れた地域で自立した生活と積極的な社会参加ができるよう、昔も今も変わらず支援活動を続けています。

とても歴史のある団体であることがよく分かりました。

活動内容を教えていただけますか？

活動は多岐にわたり全て紹介しきれないのですが、代表的なものでは、月1回実施している歌声サロンのような会員相互の親睦を図るためのレクリエーション事業や、各種研修事業、視覚障がい者への理解を深めていただくための地域や学校での啓発広報事業などがあります。

たくさんの方の活動をされていますが、会員数はどのくらいですか？

30年前は60名近く会員がいたのですが、現在は36名となっています。

昔も今も精力的に活動されていることがよく分かりました。

会員数が減少しているのが少し残念な気がします。

人は誰も失くしたものに心を奪われがちになります。私たちは会員は皆、今自分に何が出来るかを考え、前向きに毎日を送っています。視覚障がいを抱え、悩んでおられる方は、私たち会員の人生に対する前向きな姿勢を感じていただくだけでも勇気づけられると思いますし、きっと私たちはそういった方の力になれると考えています。ですので、少しでも興味を持たれた方は一度ご連絡ください。電話番号は25-1109です。

また、少しの気遣い、心遣いが私たちの活動の支えになります。私たちの日々の活動も多くのボランティアの方々の支えによるところがとても大きいです。障がい福祉NEWSをご覧の市民の皆様には是非、障がいを抱える方々を支える様々なボランティア活動に興味を持っていただきたいと思います。

酒井会長の活動に対する思いがとてもよく伝わりました。

これからもご活躍を期待しています。ありがとうございました。